



仙台市立富沢中学校・亶理町立逢隈中学校

生徒の職場体験学習を実施しました



宮城第一信用金庫では、仙台市立富沢中学校（令和5年10月25日、26日の二日間）、亶理町立逢隈中学校（令和5年11月14日、15日の二日間）からのご依頼により、当金庫の各支店に生徒さんをお招きし、職場体験学習とマネースクールを開催致しました。



【富沢中学校マネースクール】

この企画は、両校の中学2年生を対象とした民間企業等による「社会体験学習」の一環として実施されているものです。

当金庫としては、今年で富沢中学校が12回目の受け入れ、逢隈中学校が初めての受け入れとなりました。

両校で開催した内容として、信用金庫の役割や業務全般についての講義や、営業店のお仕事見学、お札の数え方や1億円（1万円札1万枚、重さ約10kg）を持ってその重さの実感していただく体験を行いました。



【逢隈中学校：信用金庫の役割について】

富沢中学校の生徒さんから後日御礼状が届き、その中で「金融リテラシーを高めたほうがいいこと」「人生設計を行いお金に関する知識を身に付けていく大切さを知った」との感想を伺いました。

逢隈中学校の生徒さんから「地域とのつながりがあること」「お札の数え方が難しかった」「渉外の仕事ではお客さんとの話す以外でも細かい変化に気にかけていること」との感想を伺いました。

両校の生徒の皆さん大変お疲れさまでした。今回の社会体験学習が、生徒さんのお役に立ったことを役職員一同、とても嬉しく思います。

当金庫では、今後もこのような学校の職場体験学習への協力のほか、様々な地域貢献活動を推進してまいります。



【逢隈中学校：オリエンテーション】